

「千葉市食育おむすびプロジェクト」を始動します！

～イオンリテール株式会社×千葉県立保健医療大学×千葉市による食環境づくり～

千葉市では、第4次千葉市食育推進計画に基づき、本市の食の課題である「朝食欠食」「孤食」「野菜摂取量の不足」の解決に向け、イオンリテール株式会社および千葉県立保健医療大学と連携し、「千葉市食育おむすびプロジェクト」を立ち上げましたので、お知らせします。

1 プロジェクト内容

(1) 概要

食品関連企業であるイオンリテール株式会社と栄養学科を有する千葉県立保健医療大学と千葉市の3者が連携し、栄養学科の大学生が食の課題解決のために考案するおむすびのレシピを基に、イオンリテール株式会社による商品化を通じて食環境づくりに取り組みます。

なお、本プロジェクトは令和8年に迎える千葉開府900年の記念事業の一つとして位置付け、当該事業のさまざまな取り組みの中で啓発活動等を実施します。

※「食環境づくり」とは、人々がより健康的な食生活を送れるよう、人々の食品（食材、料理、食事）へのアクセスと情報へのアクセスの両方を、相互に関連させて整備していくこと。

(2) プロジェクトの実施期間

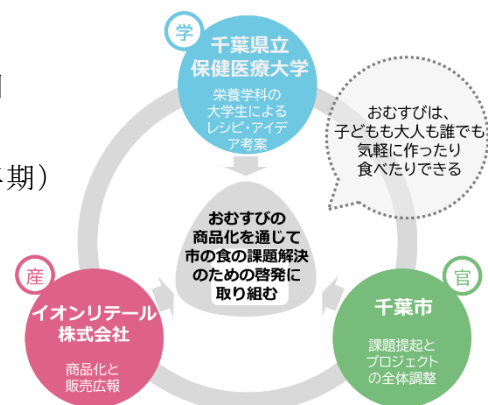
令和6～9年度（4カ年）※令和6年度は準備期間

(3) 主なターゲット

健康に関心を持ちづらい若い世代（子ども～青壮年期）

(4) おむすびのテーマ

- ①朝食に食べたいおむすび
- ②誰かと一緒に食べたいおむすび
- ③野菜を1種類以上使用したおむすび



プロジェクトイメージ

2 イオンリテール株式会社での店頭展開

(1) 商品化が決定したおむすび（3種）

ノリノリのり佃煮	イワシきんぴらおむすび	元気豚ケチャップライス
		
テーマ 朝食・共食	テーマ 朝食・野菜	テーマ 共食

(2) 販売期間

令和7年6月11日（水）～7月10日（木）

(3) 販売店舗

千葉県・東京都・神奈川県・山梨県の「イオン」「イオンスタイル」などの85店舗

(4) 販売価格

1個 170円（税込み）

3 周知啓発

イベントへの出展やポスター等の啓発媒体を作成し、本プロジェクトをPRします。

＜予定されている啓発イベント等＞

①千葉開府まつり2025でのブース出展

令和7年6月1日（日）中央公園

②千葉市フェアへのブース出展・ステージでのPR

令和7年6月15日（日）イオンスタイル鎌取

③食育のつどいパネル展での展示

令和7年6月3日（火）～6月11日（水）生涯学習センター

④Instagramによる周知

「千葉開府900年」「イオンリテール南関東」公式アカウントでの発信

⑤リーフレット「食育情報誌」への掲載

市内小学校3・4年生に全校配布するリーフレットにおむすびのレシピを掲載

※①・②は、千葉県立保健医療大学の学生も参加予定



4 お披露目会（共同記者会見）

本プロジェクトのお披露目を兼ねて、市役所で共同記者会見を実施しました。

(1) 日時

令和7年5月30日（金）11:00～12:00

(2) 会場

市役所1階 市民ヴォイド

(3) 出席者

○イオンリテール株式会社 南関東カンパニー 西千葉事業部

部長 熊倉 淳 様

○千葉県立保健医療大学 健康科学部 栄養学科

准教授 工藤 美奈子 様

学生 高橋 朝静 様（4年生）

阿閉 菜帆 様（2年生）

吉田 優沙 様（2年生）

○千葉市

市長 神谷 俊一



お披露目会の様子

<参考>第4次千葉市食育推進計画について

1 計画期間

令和6～9年度

2 基本理念

子どもから大人まで、市民一人一人が「食」を大切にし、正しい知識と選ぶ力を身につけ、健全な食生活を実践することで、「こころ」と「からだ」の健康と豊かな人間性を育む。

3 基本目標

- ・健康につながる食育の推進
- ・未来につながる食育の推進（地産地消・食文化の継承など）
- ・地域や関係者がつながる食育の推進（誰もが健康になれる環境づくり）

4 数値目標

1 1 項目 4 1 指標の達成を目指す

目標項目（抜粋）	対象	現状値	目標値
朝食の習慣がある市民を増やす （朝食を欠食する人の割合）	20～30歳代	13.4%	減少
共食をしている市民を増やす （食事を1人で食べる子どもの割合）	朝食	小学5年生	26.4%
		中学2年生	46.2%
	夕食	小学5年生	4.5%
		中学2年生	10.7%
健康的な食生活を実践する市民を増やす （1日あたりの野菜摂取量の平均値）	20歳以上の市民	278g	350g以上

5 「千葉市食育おむすびプロジェクト」で取り組む本市の食の課題

